

令和3年度 高山南商工会 経営発達支援計画評価委員会評価表

評価項目	評価委員の意見	改善点等の指摘事項	各委員の評価									総合評価	自己評価（令和3年度の取組み状況）	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		成果・課題等	評価
①地域の経済動向に関する事	定期的な情報提供や調査による動向の把握に努めている	今後も会員がどのような情報を求めているか把握し、的確な情報発信に努めていただきたい	B	B	B	B	A	A	A	B	A	B	地域経済動向調査レポートを年5回発行。毎年実施の「国道361号線交通量調査」と隔年実施の「観光客意識調査」を実施。通過点ではなく目的地となる地域として特色ある地域資源の活用を図っていく必要がある。	B
②経営状況の分析に関する事	その時々課題などからの影響も踏まえた分析に努めている	全国の事例を参考にしながら、的確な指導につなげてほしい	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	経営分析から課題を抽出し、経営改善、経営力強化につながった。経営者に財務状況を知ってもらうことで経営上の様々な活用や判断に役立ててもらうことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により新たな生活様式となったため、経営を見直す機会となった。	B
③事業計画策定支援に関する事	コロナ禍の中で開催手法が制限される中、状況に応じた対応に努められた	より効果が上がる手法を模索してほしい	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	講習会関係は新型コロナウイルス感染防止のため実施しなかった。新型コロナウイルス感染対策支援策の各種補助金申請支援が多くあった。経営計画を策定することで自社の強みや弱みの掘り起こし、市場の動向などの外部環境を把握することで戦略を立てることができたため、計画の重要性や必要性が事業者を理解してもらうことができた。	B
④事業計画策定後の支援に関する事	コロナ禍で対面での支援が困難な中、工夫を凝らした対応ができた	特になし	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	策定した事業者には、定期的なフォローアップを行うことができた。コロナ禍で巡回が十分できなかったが、メールや電話でヒヤリングや情報提供を行い計画通り進行しているかの確認や軌道修正などを行った。事業者支援の頻度を高め経営力の向上を目指したい。	B
⑤需要動向調査に関する事	適切な情報提供により、経営計画の策定や補助金申請に活かすことができた	会員の利便性向上に努めてほしい	B	B	B	B	A	B	A	B	A	B	外部環境の分析として統計データや市場データなどの情報を提供し、経営計画策定や補助金申請等に活用できた。商圏内の市場調査等のデータは販路開拓や新事業展開を目指す事業者にとって今後の戦略に欠かせないデータとなるため今後も最新の情報を提供していきたい。	B
⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	コロナ禍が続く中、個社支援を通じて目的達成に向けた事業が実施できた	ウイズコロナ、アフターコロナを踏まえ、DXの推進など将来を見据えた支援に努めてほしい	D	D	D	D	C	D	C	C	C	D	新型コロナウイルス感染防止対策のため商談会や展示会の開催が中止になるなど販路開拓事業が実施できなかった。今後はデータベースでの商談会形式やオンライン営業が増加してくると思われるためデジタル化に向けた支援を強化したい。	D
⑦地域経済の活性化に資する取組み	独自の事業を立ち上げるなど、工夫を凝らして地域の活性化に努めた	今後も管内全体の活性化につながる支援策などに取り組んでほしい	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	計画にはなかったが、新型コロナウイルス感染症経済対策支援「高山市産業団体等活性化策支援事業補助金」制度を活用し、「夏のキャッシュバックキャンペーン」と「2021カウントダウン大感謝祭」事業を実施した。管内で推定売上3620万円の経済効果があった。今後も市や県の支援補助金を活用した事業を積極的に実施していきたい。	A

評価基準：A 達成することができた。 B おおむね達成することができた。 C 半分程度しか達成することができなかった。 D ほとんど達成することができなかった。 E 未実施